2019年度 研究メンバ募集について

UNIRITAユーザ会は、様々な業種、様々なIT環境のメンバが集まる人脈形成の場であり、また、他のユーザ会と異なる大きな特徴として、1年を通した研究活動による技術力向上をテーマにした活動を中心としていることがあげられ、人材育成の場としても活用していただけます。

UNIRITAユーザ会では2019年度の 研究部会メンバを募集しております。

研究部会のキックオフとなる春の全体会は5月15日 (水)より全国で順次開催いたします。研究メンバ同士の顔合わせの場となるだけでなく、1年間の研究内容の方向性が決定される場でもありますので、ぜひ、春の全体会からのご参加をお勧めいたします。





で参加者・ご参加者上司の声

ご参加者の声

- 様々な企業の方と、1 年間研究でき、社内だけでは得られない、意見や知見にふれることができよかったです。
- ■研究会に参加した社員にとって、いつもの業務と違う自分の選んだテーマに取り組むことができ、またさまざまな会社の人と接することができるので良い刺激になっていると思います。
- 初参加でしたが、研究発表のデモの面白さと、パーティーの 盛大さが印象的で、今後も機会があれば参加したいと思いま した。ユーザ企業の方々もみなさん会の趣旨に則って積極的 に交流してくださり、楽しい時間を過ごすことができました。
- ■研究発表や企業のブースなど、学べる機会が多く用意されていて充実した2日間を過ごせました。

ご参加者上司の声

- 第三者を前に落ち着いて説明する姿を拝見でき、非常に 頼もしく感じました。本人の経験値もかなり上がったと思 います。
- 自らグループの中核となって研究を進める経験を積めたこと、 外に目を向けさせる良い機会となったこと、異業種の社員 の人達とコミュニケーションを通じてネットワークが構築 できたことなど、これらの経験が今後に活きると実感して います。
- 自社では経験できない体験をさせることができ、満足して います。
- 何よりも本人が色々と刺激を受けて、前向きに取り組んでいたことが上司としては嬉しかったです。

お申し込み・詳細はユーザ会ホームページをご覧ください。2019年度の全国の研究テーマの詳細を公開しています。「ユニリタユーザ会」で検索! ▶ http://www.uniritauser.jp

編集後記

事務局より

UNIRITAユーザシンポジウムは今年で3回目の福岡開催となりました。事務局は体制を一新して初めてのシンポジウムとなりました。皆さまに支えられて、事故なく無事に終わることができました。この場を借りて御礼申しあげます。

さて、月日が経つのは早いもので、あっという間に2019年度の研究メンバ募集が始まりました。 研究活動は、5月の春の全体会からキックオフとなり始動します。

今年シンポジウムで味わった感動を、もう一度味わってみませんか? また来年、皆さまに会えることを楽しみにしております。

第36回 UNIRITA ユーザシンポジウム in ヒルトン福岡シーホーク



W

UNIRITA Users' Group UNIRITAユーザ会ニュース No.56 発行日:2019年4月9日

2019.4.9 **No.56**

UNIRITAユーザ会ホームページ http://www.uniritauser.jp



CONTENTS

- 02 第36回UNIRITAユーザシンポジウムご報告
- 04 シンポジウム開催レポート
- 06 第36回UNIRITAユーザシンポジウム受賞報告
- 07 Close Up! シンポジウム最優秀事例発表賞インタビュー
- 08 2019年度 研究グループのご紹介
- 10 UNIRITAユーザ会の主な活動内容/年間スケジュール
- 11 役員・代表の紹介
- 12 2019年度メンバ募集

ユニリタユーザ会





第36回

UNIRITA ユーザシンポジウムご報告

第36回 UNIRITA ユーザシンポジウムが、 昨年に引き続き福岡で開催されました。 今回は、全国から173社603名の方にご 参加をいただき、福岡開催では過去最高 の参加人数となりました。

UNIRITAユーザ会定時総会はユーザシンポジウムに合わせてあらかじめWeb総会として開かれ、各会員企業様の登録代表者の皆さまにご投票をお願いしました。皆さまのご協力のおかげで無事議案が承認されましたこと、この場をお借りしてお礼



坪井会長による総会報告

申し上げます。

初日の全体会では、坪井会長による開会 のご挨拶および Web 総会の結果報告、シ ンポジウムの見所のご案内が行われました。 その後、株式会社ユニリタ 代表取締役 北野裕行によるプレゼンテーション「デジ タルビジネスを創造するIT部門とは」と題 し、前半は、デジタル変革(DX)の潮流や プラットフォームビジネスで成長している 企業の共通点を紹介、経営、システム、IT 部門の3つの視点で選択と集中の重要性 を説きました。後半は、シンポジウム参加 者に向けて「これからのIT部門はDXアク セラレータへ、企業のDX 推進フレキシブ ルに加速、減速、停止するための重要な 役割を担う。ユニリタは、IT部門の選択と 集中を支援していく」と力強く語りました。 全体会の後は、事例発表9セッション、ユ ニリタグループによるプレゼンテーション、



2019年3月7日~9日 ヒルトン福岡シーホーク

北野社長

パートナーセッションが行われました。満席となるセッションも多く、ご参加いただいた皆さまの関心の高さが伺えました。セッションの合間には協賛パートナー企業様によるPRタイムを開催し、パートナーズゾーンの出展内容や展示製品についてアピールいただきました。また、15時にはおやつとして山崎製パン様からたくさんのパンをご提供いただき、多くのお客様がお好みのパンを手に取り楽しんでいただきました。



サッポロビール様からの協賛品





None Acres A

品 カンロ様からの協賛品



講演会 岸氏



マネジメントセッション 加藤氏



マネジメントセッション 森本氏



協賛パートナー PR タイムの様子

2日目は28グループの研究発表およびマネージャ層向けのマネジメントセッションが行われました。研究発表では、聴講者の投票によって評点が決まることもあり、発表者は緊張の面持ちで1年間の研究活動の集大成を発表しました。

参加事前登録制のマネジメントセッションは、受付開始後、数日で満員御礼となり、当日は、多くの方にご参加いただきました。 昼の講演会では、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授の岸博幸氏に



パートナーズゾーン

ご講演いただき、ビジネスを取り巻く経済 動向とIT戦略についてお話しされ、聴講 者の関心を集めていました。

表彰パーティでは、優秀な評価を得た事 例発表、研究発表の表彰式が華々しく行 われました。

最優秀事例発表賞は、株式会社飯田様による「真の働き方改革に向かって~Waha!TransformerとRPAの協業事例~」優秀事例発表賞はカンロ株式会社様による「Waha!Transformerで見える!Dr.Sumで見える!販売コスト・利益の見える化システム構築」が受賞されました。今回も非常に多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。これもひとえにご参加いただいた多くのお客様と、多くのお力添えをいただいた協賛パートナー企業様のおかげです。誠にありがとうございました。





2日目パーティ

第37回 UNIRITA ユーザシンポジウムは2020年3月に開催予定です。プログラム等の詳細は12月頃に公開いたします。 次回も多くの皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 03



シンポジウム開催レポート

川原君が行く!第2段 第36回UNIRITAユーザシンポジウムの 突撃レポートを川原君が今年も実施しました 突撃レポートを川原君が今年も実施しました!



福岡到着!!

今年も福岡地方は風の強い天気となり、若干の到着の遅れがあ りましたが、大きな事故もなく無事到着!!

会場のヒルトン福岡シーホークは福岡ソフトバンクホークスのホー ムグランドであるヤフオクドームの隣にあり、唐人町駅から送迎 バスで移動です。川原君、今年は既に会場で準備中です。



事例発表

全体会の後は事例発表となります。今年は9社 の事例発表があり、たくさんの方が真剣に聴講さ れていました。お客様自ら発表していただくので、 成功事例や苦労話など説得力のあるお話を聴く ことができて、とても参考になりました。さぁ、いよ いよ川原君の出番です。突撃インタビュー開始!!

「立食パーティー」

パーティー中、研究グループメンバに川原君が 突撃インタビューを行いました!

- **Q.**研究内容の出来はいかがですか?
- **A.**80点~100点くらいです。
- Q.ズバリ、明日の目標は?
- ▲. 優秀賞以上と言いたいところですが、最低でも入賞です!



ヒルトン福岡シーホークに到着!!受付を済ま せて全体会会場へ移動となります。全体会で は、坪井会長から定時総会での議案の報告 や来場者数の報告があり、今年は600名以 上の方が参加されるようです。その後、ユニリ 夕の北野社長からプレゼンテーションとなり ます。川原君は全体会のビデオ撮影中です。





事例発表の合間に、山崎製パン様ご協賛の 美味しいパンを食べながら、パートナー様の PRタイムが見れます。PRタイムで気になった ことがあれば、各社ブースで詳細内容を聞く ことができ、スタンプラリーにも参加すること ができます。川原君は今年もパンの魅力に負





研究発表

2日目は、いよいよメインイベントの研究発表です。 面白そうなテーマがいっぱいあり、どの発表を見 に行くか迷ってウロウロする川原君です。



岸博幸さんの講演会の模様です。日本の将来に とって、経済とITの関係や役割が大変重要なこ とを大変わかりやすく講演されました。60分の 講演が、あっという間に感じた川原君でした。



すべての研究発表が終わり、あとは結果 を待つだけ。その前にまずは腹ごしらえ。 美味しい料理を食べた後は、島谷ひとみ さんの楽しいショーで盛り上がりました。 川原君も会場のみんなと盛り上がりまし た! 表彰式では、IWO2研究グループが 最優秀活動賞を受賞。島谷ひとみさんか らお花を手渡されて、みんな最高潮に!





1年間研究した研究内容と発表結果が評価された研究 グループの皆さま、おめでとうございます!また、残念な がら受賞を逃した研究グループの皆さま、本当にお疲 れ様でした。この1年間の体験は、業務では得られない ものだと思いますので、この経験と1年間共にした研究

あっという間の2日間でした。インタビューにご協力 いただいた方々ありがとうございました。たくさん の研究グループが成果を発表する予定となっていま すので、来年度もUNIRITAユーザシンポジウムに ご期待ください!!

研究グループ活動賞

最優秀 活動賞

IWO2:IoT時代におけるビッグデータ分析

あなたの資産が疲れている ~バイタルデータから見えるあなたのストレス~

関電システムソリューションズ株式会社 森本 淳 株式会社ノエビアホールディングス 大坪 祐介 京セラコミュニケーションシステム株式会社 阿閉 俊光 ユニチカ株式会社 馬 依婷 情報技術開発株式会社 川口 翔太 株式会社ユニリタプラス 二見 徳人 南海マネジメントサービス株式会社 沼口 直紀 株式会社ユニリタプラス 梅村 材

疲労度を可視化し働き方改革に活用。 【苦労した点】3ヶ月かけて理解した心拍変動解析方法を聞き手に理解でき

スマートウォッチで取得した心拍数から心拍変動解析を行い、

るように、資料に落とし込んだ事と、疲労度を可視化させるシステムづくり。

【良かった点】身につけやすいIoT機器により長期間の心拍データ測定が行え、 トラブルや病気など様々なサンプルを取得でき、検証結果の説得力が増した。

優秀活動賞

西日本合同研究部会

GW02: デジタルセキュリティー管理

FIDOで始める認証生活 ~パスワードを忘れてみませんか~

旭化成株式会社	磯田 昂志
株式会社クロスユーアイエス	中村 雄高
小浦石油株式会社	熊取 美佐都
株式会社CACオルビス	橋本 博美
関電システムソリューションズ株式会社	日下部 駿
日本精線株式会社	佐々木 拓真
パナソニックソリューションテクノロジー株式会社	長井 祐輔
株式会社リンクレア	小坂 真喜子
株式会社ユニリタプラス	黒田 浩子
株式会社ユニリタプラス	上本 直人

西日本システム運用研究部会 優秀活動賞

関電システムソリューションズ株式会社

株式会社ケーケーシー情報システム

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

株式会社KYOSO

情報技術開発株式会社

ネクストウェア株式会社

ネクストウェア株式会社

株式会社ビーティス 株式会社ユニリタプラス

株式会社ユニリタプラス

OW01: 最新技術による完全自動化

RPAだけじゃない!

最新技術を活用した業務自動化の実装

岡田 和之

斎藤 玲児

棟田 勇

大成 崇幸

藤原 真樹

清水 里香

高橋 志音

東日本情報活用研究部会 優秀活動賞

西日本情報活用研究部会

IE12:電子国家を支える技術

日本の電子国家化を加速させるためには ~ブロックチェーンによる新たな価値創造~

株式会社 NSP 株式会社 K-BIT 株式会社 CBIT 株式会社匠 Business Place 株式会社リンクレア	井上 麻理 古中中 康 清大 子 大 子
株式会社ユニリタ	大久保 柏 田中 大地

東日本情報活用研究部会

審査員特別賞

IE10:RPA 導入考察 RPA の導入のライフサイクル

AGS株式会 足野 錬 NTTコムウェア株式会社 松岡 俊樹 TISシステムサービス株式会社 福永 吉昌 アース製薬株式会社 伊藤 匠人 ニッセイ情報テクノロジー株式会社 高原 哲治 ネットワンシステムズ株式会社 小玉 まさき リコーITソリューションズ株式会社 本田 圭一 安川情報システム株式会社 山口 和洋 株式会社エムアンドシーシステム 西村 和洋

~俺の失敗を越えてゆけ~

西日本システム運用研究部会 審査員特別賞

OW02: 運用自動化はなぜできないか?

運用自動化案内人 ~お届けします、職場ごとに異なる処方箋~

旭化成株式会社	橋永 恭幸
70.1077771-12.12	
株式会社オージス総研	大友 謙一
京セラコミュニケーションシステム株式会社	岡田 洋
株式会社KYOSO	小野 雄一郎
株式会社ケーケーシー情報システム	山中 康弘
さくら情報システム株式会社	新田 直紀
TISシステムサービス株式会社	黒川 雄一
TISシステムサービス株式会社	阪 倫子
南海マネジメントサービス株式会社	柳橋 璃恵
ニッセイ情報テクノロジー株式会社	町野 貴英
山崎製パン株式会社	門脇 千穂
株式会社ユニリタプラス	中村 依理子
株式会社ユニリタプラス	石崎 毅

審査員特別賞

ON01:システム運用効率化のための インタフェース活用

運用効率化のためのインタフェース活用 ~ EU(エンドユーザ)からの離脱に向けて~

株式会社第一コンピュータリソース	布施	克
TISシステムサービス株式会社 株式会社豊通シスコム	松原赤松	康
株式会社ナイス 株式会社メイテツコム	神田 追田	
株式会社ユニリタ 株式会社ユニリタ	姫野 後藤	

OE09: ワークスタイル変革を考える

君たちはどう休むか

~オーバーワークからの防衛術~

株式会社エムアンドシーシステム

株式会社エムアンドシーシステム

昭和シェルビジネス&ITソリューションズ株式会社

= 愛石油株式会社

山崎製パン株式会社

株式会社ユニリタ

株式会社システムオリコ

SOMPOシステムズ株式会社

審査員特別賞

東日本システム運用研究部会

上野 洋平

矢藤 由紀

本波 友行

齊藤 清隆

伊藤 祥子

永松 岳大

大石 亮

中部システム運用研究部会

審査員特別賞

最優秀事例発表賞

第一生命情報システム株式会社

株式会社ビーエスピーソリューションズ

東日本情報活用研究部会

株式会社飯田 山本 直樹 氏、田原 由英 氏

製品名:Waha!Transformer

真の働き方改革に向かって

~Waha!TransformerとRPAの協業事業例~

小野寺 一洋

五十嵐 雄哉

IE13:クラウドAPI開発

もう迷わない!オープンAPI選定術 ~羅針盤無きAPI選定への希望の光~

MOCADシヘノムへ休丸云社	同川 子円
株式会社オカムラ	横山 直希
ニッセイ情報テクノロジー株式会社	塚田 裕之
ネットワンシステムズ株式会社	中山 雄太
リコーITソリューションズ株式会社	岩井 真帆
株式会社ユニリタ	百瀬 吉伸
株式会社ユニリタ	渡辺 孝則

審査員特別賞

東日本情報活用研究部会

IE08: 社内 YouTuber 育成

【!必見!】企業における動画の活用方法

株式会社KYOSO 株式会社トーハン・コンピュータ・サービス 株式会社無限 株式会社リコー 株式会社リンクレア 株式会社リンフレタ	鈴木坂本	周平 穂野香 悠斗 有理可
株式会社ユニリタ	上迫	淳也

~社内 YouTuber に託したい『夢』~

株式会在KYUSU	小野 恵純
株式会社トーハン・コンピュータ・サービス	青木 周平
株式会社無限	江頭 穂野都
株式会社リコー	鈴木 悠斗
株式会社リンクレア	坂本 有理司
株式会社ユニリタ	上迫 淳也

優秀事例発表賞

カンロ株式会社 狼 秀人 氏

製品名:経営可視化(BI+Waha!Transformer)

Waha!Transformerで見える! Dr.Sumで見える! 販売コスト・利益見える化システム構築

CLOSE-UP! シンポジウム

最優秀事例発表賞インタビュー

第36回 UNIRITA ユーザシンポジウムの「最優秀事例発表賞」 は、株式会社飯田 山本 直樹氏、田原 由英氏が受賞されました。 今回は、山本氏と田原氏にシンポジウムでの発表のご感想や、今後ユーザ会に期待されることをお聞きしました。

株式会社飯田



山本 直樹 氏

田原 由英 氏

第36回 UNIRITA ユーザシンポジウム 最優秀事例発表賞受賞

真の働き方改革に向かって ~Waha! TransformerとRPAの協業事例~

シンポジウムでの発表のご感想と、 受賞されたお気持ちをお聞かせ下さい。

この度はこのような賞を頂きまして、誠にありがとうございます。弊社では2018年 3月にRPA製品「BizRobo!」を導入し、本年様々なセミナーで、取り組み事例を発 表する機会を頂戴しておりますが、今回は本当に気合いが入っていました。

発表した内容にもございましたが、現在弊社では100体程のロボが業務を担ってく れています。ただ、そこに至る経緯は決して順風満帆ではなく、今も日々悪戦苦闘と 試行錯誤を繰り返しています。これらの経験を通じてつくづく感じるのは、どんな先 進的で有益なツールでも、取り組む人間がしっかりと「考える」ことが重要だという 事です。人間が考えて、一歩一歩でも確実に実行するからこそ、ツールはより効果 を発揮する。その積み上げが、本当の生産性や、真の働き方改革に繋がっていくと 考えています。今回受賞に至ったのは弊社のお話に皆様が少しでも共感頂けたから であると捉えており、これを機にまた議論ができれば幸いでございます。紙面では ございますが、改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ユーザ会について期待されることなどがあれば お聞かせください。

昨今「働き方改革」や、その手段である「RPA」という言葉を耳にしない日はありま せん。これは、日本の生産労働人口が減少局面にある中、労働力の有効活用や生 産性向上がそれ程差し迫った課題になっているという事に他なら無いからでしょう。 ただ、この課題はツールさえ導入すれば解消されるわけではありません。RPAに限っ て言えば、「本質的な議論が抜け落ちていた」事による、導入の失敗事例が多く聞 かれます。

それぞれ異なる内外の環境に直面している企業様同士の議論は非常に有効だと考 えます。ユーザ会においても、今まで以上にその有効性を活かし、ITのトレンドやツー ルそのものを掘り下げるだけではない、企業の課題解決の糸口に繋がる研究がもっ ともっと出来ればと期待します。また、弊社も少しでもそういった活動に貢献出来 ればと思います。









※「BizRobo!」は、RPAテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

06 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 07

2019年度 UNIRITAユーザ会 研究テーマおよび研究概要一覧

UNIRITAユーザ会では今年度も活発に研究部会活動を行っていただくべく、研究グループメンバの募集を行います。 今年度も地域ごとに旬なテーマをご用意して会員企業様のご参加をお待ちしております。

「ドローン」を活用すれば配送先を広げ、

自動化することができます。まだ、法律の

規制により白動での配送ができる場所な

どは限定されておりますが、ドローンを使

用することで物流にどのような改革がもた

様々な「スマートスピーカー」が求めやすい価

格の情報機器として広まってきています。 太研

究グループでは、スマートスピーカーの機能を

学んでメリットやデメリットを調査して、そのメリッ

FinTechやAgriTechなど「X-Tech」と

呼ばれる業界が登場し、IoTやAIを駆使 しながら新しいビジネスが生まれてきまし

た。本研究グループでは、デジタル変革に

よって出現する業界の可能性について研

トを活かしたビジネスへの活用を研究します。

らされるのかについて研究します。

スマートスピーカーの

対象 💄 部門長 💄 マネージャ 💄 一般・若手・中堅

情報活用 情報活用研究部会 システム運用 システム運用研究部会

合同 合同研究部会

情報活用・システム運用情報活用・システム運用研究部会

東日本地区

IE01 情報活用 これからのIT

参加者は情報システム部やITベンダーの マネジメント層です。ITの課題に対する最 新技術による解決策や導入 実績を提供し 合い、会社を離れた情報交換の場を提供 します。また、ユーザ会に参加する研究部 会メンバへの支援を行います。

IE02 情報活用

1 1 1 AI人材の育成

#ΔI#人材育成

「AI」の関連技術の発展により、AIを活用 したビジネスの可能性が拡大しています。 本研究グループでは、AI技術の活用につ Nて学び、AIのような新しい技術に適用 できる人材をどのように育成していくかに ついて研究します。

IE03 情報活用

電子決済の企業活用

#電子決済 # API連携 #ビッグデータ

現金を使わずに支払いができる「電子決 済」は、新しいビジネスモデルを創出でき る可能性があります。本研究グループでは、 企業が雷子決済をどう活用できるか?と んなビジネスを創出できるかについて研 究します。

IE04 情報活用

#ドローン #物流

IE05 情報活用

ビジネス活用

IE06 情報活用

X-Techの可能性

X-Tech # AI # IoT

#スマートスピーカー # AI

.

! ドローンを使用した物流改革

!

IE07 情報活用 プロダクトオーナー

.

#機械学習 # Al #要件定義 #プロダクトオーナー #アジャイル開発

頻繁に仕様が変わり短期開発が求められ る現場では、どんな機能が誰に必要とされ、 いつ何をリリースするかを決め サービス・ 製品の価値を高めていくことが重要です。 本研究グループでは、企業の「プロダクト

IE08 情報活用

!

5G、HTTP/3の可能性

#5G #HTTP/3 #IoT

オーナー」ついて研究します。

「5G」は、大量データ転送、超低遅延、大 量接続を実現し、「HTTP/3」は、通信の 遅延時間を短縮しリアルタイム性を高め、 社会に大きなインパクトを与えます。本研 究グループでは、これら技術の有効活用に ついて研究します。

IE09 情報活用

企業YouTuberの マーケティング戦略

YouTube # YouTuber #マーケティング

企業と「YouTuber」がタイアップした方が、企 業の一方的なプロモーション活用よりも効果的 という調査結果があります。本研究グループでは、 企業向けのマーケティング戦略に YouTube を どう取り入れるかについて研究します。

IE10 情報活用 MLOps

! ! !

機械学習(Machine Learning)と運用 (Operations)をかけ合わせた「MLOps」 が注日されています。 太研究グループでは 運用を見越した機械学習基盤の構築につ

IE11 情報活用

情報システム部門のあり方

#業務改革 #部門間連携

情報システム部門と業務部門の協力無し

では良いシステムは導入できません。本研 究グループでは、これらの部門間のあり方 について討議し、お互いに望むシステムを 導入するためにどのような取り組みができ るかについて研究します。

OE01 システム運用 **!** ! 運用管理事例

#IT全般

システム運用に携わった管理者の豊富な 経験を活かし、これからのITシステム運用 の問題占や課題について管理者の立場と しての改善策の討議を行い、経験した事 運用」を考える活動を行います。

OE02 システム運用

xTechの潮流から考える IT部門

#攻めのIT #xTech DX

デジタルとリアルの融合 xTechが注目され、プ ロセスの効率化などを実現してきました。しか し新しい事に対して積極的に取り組めてない現 状があります。本研究グループではIT部門がビ ジネス貢献し、今後の役割を研究していきます。

OE03 システム運用

アジャイル開発における 運用要件の取り入れ方

#アジャイル #要件定義

開発手法として、現在はアジャイル開発が一般 的な手法として知られています。一方で機能要 件が中心で、運用を意識した設計になっていな いケースが多々あります。 太研究グループでは 実運用を意識し色々な角度から研究していきます。

OE04 システム運用 DX 時代における

サービスマネジメント

AI #機械学習 #品質 # ITIL

ITILというベストプラクティスが浸透し、ITに よる事業変革、サービス化が行われサービ スマネジメントの考え方が一層必要になって きました。本研究グループでは、最新の技術 を駆使したサービス改善について研究します。

OE05 システム運用

クラウド時代の運用管理の在り方

#クラウド #ビジネス 貢献 #運用管理

ビジネスのサービス化、デジタル化により スピードを求められる事が多くなりました。 セキュリティ管理も厳しくなり、運用も高 いレベルを求められております。 本研究グループでは、クラウド時代の運用 管理について研究していきます。

OE06 システム運用

流行に負けない、 成果を出し続けるためのRPA活用

働き方改革が叫ばれている中、ブームになって いるRPA。最新のテクノロジーを導入したもの の、形骸化しているシステムも多々見受けられま す。 太研究ゲループでは 人的リソースが減少し ている中で成果を出し続ける為の研究をします。

OE07 システム運用

DX時代に 活躍できる人材とは

IT 人材 # DX

ITは業務改善での利用だけでなく、既存 事業を変革することを求められています。 DX時代では、縦割りではなく組織横断型 の連携が必要です。本研究グループでは DX 時代で活躍する人材とは?必要なスキ ルは何かなどを研究します。

OE08 システム運用

OW02 システム運用

#AI #運用設計

ついて研究します。

AI時代10年先を考えた

企業のAI活用やIoT導入が普及し、シス

テム運用は更に複雑さを増していますが、

次の10年を見据えた運用設計ができてい

ますでしょうか。本研究グループでは、10

年先を考えたこれからの運用の在り方に

これからの運用の在り方

スマートスピーカーを 活用した定例効率化

#スマート化 #スマートスピーカ

Amazonをはじめ、家電との連携による スマート化が流行し、ヘルプデスク業務等 に利用するケースも出てきました。本研究 グループでは、安定運用が必要なシステム 運用において、運用負荷をいかに減らすか? を研究します。

OE09 システム運用

若手が提唱、モチベーション &メンタルコントロールで 人財流出をしない システム部門を作る

#人材育成・改革 #モチベーション #メンタルコントロール

人財不足の中でIT部門への補充もされに 、IT従事者自体の人財不足も深刻で す。本研究グループでは若手の視点でモ チベーション&メンタルコントロールを切 り口に、ベテランIT部門担当者に提言す る研究をしていきます。

OE10 システム運用

ワークスタイル変革を 推進するIT部門

#ワークスタイル #変革

昨今の労働人口減少が企業として大きな 問題となってます。悪しき風習から脱却、 ワークスタイル変革を起こすのはIT部門 の宿命です。本研究グループでは、IT従 事者の視点から業務変革するためにはど うするべきかを研究していきます。

中部地区

INO1 情報活用

RPA×AIによる ビジネス活用

RPA #FPA #AI # 機械学習

各企業にてRPAの導入が進んでいますが、 RPA を『定型作業を自動化する手段』の みと捉えている現場も少なくないと思われ ます。本研究グループでは、AI技術と組み 合わせる事で RPA の更なる活用方法につ いて研究していきます。

INO2 情報活用

オープンデータとIoT

インターネットを通じ公開しているオープ ンデータは、誰もが利用できる重要なリソー スです。本研究グループではオープンデー タと各社の保有データの融合により得ら れる付加価値や今後の展望について討議、 研究していきます。

GN01 合同

IT部門が推進する働き方改革

セキュリティガバナンス

IT部門はITの観点から働き方改革を推

GN02 合同

-

現在 世の中では定年制度の目前しや面 雇用等の取り組みが行われています。経 験豊富なシニア世代にITの現場でどのよ に活躍してもらう事が、後進の育成、企 業貢献や社会の活性化等に繋がっていく

1 1

#働き方改革 #RPA #リモートワーク

進する役割を担っているのではないでしょ うか。労働時間短縮やリモートワーク等 を改革・推進するためRPAやリモートワー クといったツールや手法をどう活用してい くべきかを研究していきます。

IT部門におけるシニア活用

#シニア活用 #人材育成 #ノウハウ継承

のかを研究していきます。

ヒューマンファクターに基づく ヒューマンエラー対策

#ヒューマンファクター #リスク管理

人間は大小の差こそあれど誰しもがミス を犯すものです。一方工夫により、ヒュー マンエラーの発生を抑止できる 実です。本研究グループでは、人間の行動 特性を学ぶことからヒューマンエラー抑止 の手法を研究していきます。

ONO2 システム運用

システム運用業務効率化再考

RPA 活用による定型業務自動化が普及し つつある一方で、慣習や既成概念に捉わ れ自動化できるはずの業務を人手で行っ ている事もあるのではないでしょうか。本 研究グループでは業務自動化による成果 を出す方法を研究していきます。

西日本地区

IW01 情報活用

ブロックチェーンの 実践的な導入

#ブロックチェーン # Python

ブロックチェーンは、その高い改竄耐性か ら、仮想通貨をはじめ、様々な業態のサー ビスに利用が広がっています。本研究グ ループでは、ブロックチェーンの特性を活 かしたビジネスへの展開を研究します。

IW02 情報活用

ついて研究します。

マルチクラウド時代の アジャイル開発技法

#クラウド #アジャイル # API #エコノミー クラウドの利用は一般的になり、API連携 による新しいマイクロサービスが次々に生 まれている背景の中、本研究グループでは、 アジャイル型開発と組み合わせて、クラウ ドサービスをどう活用し、開発できるかに

GW01 合同

業務改革とIT活用 #政めのIT #DX #人材活用

IT全般について、あり方や活用方法を研 究します。攻めのIT·DX·事業継続計画・ ITガバナンス・グローバル人材活用・IT利 用とコストとの関係など、参加メンバが各 社で抱える問題、課題を情報交換し、解

GW02 合同

決策を探っていきます。

IoT時代の ネットワークセキュリティ

IoT #セキュリティ

IoT機器の導入が進む中、多様なビッグ データの活用も始まると同時に、IoT機器 を狙ったサイバー攻撃も増加しています。 本研究グループでは、企業が安全にIoT の仕組みを提供し、活用していくための研 究を行います。

GW03 合同 ITを駆使した

働き方改革の研究

#働き方改革

近年、人手不足が深刻化している中、働 き方改革で生産性を高めることは待った なしの状況です。本研究グループでは、企 業が働き方改革を実践する上で、どのよう なITを駆使し、活用すべきかを研究します。

OW01 システム運用

RPA導入を 成功させるポイント # RPA #自動化

近年、生産性の向上が求められる中で、

RPAの導入検討を進めている企業も増えてきています。本研究グループでは、現状 のRPA導入の注意点を考え、成功のポイ

九州地区

IKOK01 情報活用・システム運用

最新技術を用いた 先進化運用の実現

ための研究を実施します。

#RPA #機械学習 #障害予兆検知 『運用の効率化』や『コスト削減』を求めら れていませんか?最新技術である機械学 習やRPA等を用いてシステム運用を実現 させ、障害予兆検知や障害対応判断の自 動化といった『先進化運用を実現』させる

研究活動の流れ [主な活動とスケジュール]



春の全体会

研究活動のキックオフとして全国で春の全体会を開催します。全体 に対してオリエンテーションを行ったあとは、グループごとに分かれ て初回の会合を行います。これから1年間、一緒に研究活動を進め ていくメンバ、コーディネータと初めての顔合わせです。自己紹介や 今後の進め方などを決めていき、研究活動がスタートします。

開催概要

中部

.....

2019年5月15日(水) TKPガーデンシティ品川(品川) 2019年5月16日(木) TKP名古屋駅前カンファレンスセンター(名古屋) 2019年5月21日(火) TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル(桜ノ宮) 2019年5月20日(月) TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター(博多) ※会場は変更になる可能性があります。

合同合宿

催します。何にも邪魔されない環 境で研究テーマの深掘りや議論に 集中でき、メンバとの親睦も深まり ますのでぜひご参加ください。

日帰りや1泊2日での合同合宿を開

各グループのリーダが集まり、研究 活動の進捗を報告します。他グル プのリーダや代表・副代表と意見交 換することより、今後のグループ活 動をよりよくしていきましょう。

グループリーダ会議

冬の全体会

春の全体会から7ヶ月、それぞれの地区の全グループが - 堂に会します。各グループから研究活動の進捗報告、 3月のシンポジウムに向けた発表講習などを実施し、研 究活動のまとめに望みましょう。また、全体会後の懇親 会では、シンポジウムでの発表枠の抽選も行います。

発表練習会

研究活動も大詰めとなり、シンポジ ウムに向けた発表練習会を行います。 他グループや幹事・代表・副代表を前 に発表練習を行い フィードバックを 得てさらに磨きをかけていきましょう。

シンポジウム

]年の活動の集大成!九州 で開催するシンポジウムで 研究発表を行います。有終 の美を飾るのは一体どのグ ループでしょうか!?

08 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 09

UNIRITA Users' Group

UNIRITAユーザ会の主な活動内容

■研究部会活動

参加ユーザの自主的な運営で、 地区ごとにテーマを設定しテー マごとの研究グループが1年間研 究活動を行います。



■ユーザシンポジウム

1年間のユーザ会活動の締めく くりとして、研究部会活動発表、 ユーザ各社の事例発表の場として、 「ユーザシンポジウム」を開催し ています。



■情報交換活動

【ITフォーラム】

業の階層ごとに最新技術情報 のテーマを設定し、幅広い分 野での意見交換・討議の場と して開催しています。



【マネジメント研究会】

各地区の方を中心に、会員企 全国の部門長クラスの方々を対 象に、マネジメントの立場から 見た情報システムにまつわる最 新の話題を幅広く取り上げ、情 報交換を中心に開催しています。



■〈UNIRITAユーザ会〉2019年度年間スケジュール(2019年4月~2020年3月)

		2019年 4月	2019年 5月	2019年 6月	2019年 7月	2019年 8月	2019年 9月	2019年 10月	2019年 11月	2019年 12月	2020年 1月	2020年 2月	2020年 3月
幹事	事会·研究部会運営会議等	運営会議 4/23(火)		幹事会 6/14(金)					運営会議 11/6(水) 幹事会 11/22(金)			幹事会 2/7(金) WEB総会	準備会 3/5(木)
	情報活用研究部会		春の全体会	, , , , , , ,					, , , , , ,	冬の全体会			
東	システム運用研究部会		5/15(水)							12/4(水)			
	東日本ITフォーラム	4/11(木)						10/18(金)					
東日本	合同合宿				7/12(金) ~13(土)								
	情活グループリーダ会議						9/10(火)						
	運用グループリーダ会議							10/8(火)					
	情報活用研究部会												
	システム運用研究部会		春の全体会 5/16(木)							冬の全体会 12/10(火)			
中	合同研究部会												
部	中部ITフォーラム	4/16(火)							*11/15(金)				
	合同合宿				7/19(金) ~20(土)								ユーザ シンポ
	合同グループリーダ会議				, , , ,			10/16(水)					ジウム 3/5(木) ~7(土)
	情報活用研究部会												/(工/
	システム運用研究部会		春の全体会 5/21(火)							冬の全体会 12/18(水)			
酉	合同研究部会												
西日本	西日本ITフォーラム	4/17(水)									1/24(金)		
	合同合宿				*7/5(金) ~6(土)								
	合同グループリーダ会議							10/17(木)					
	情報活用・システム運用合同研究部会		春の全体会 5/20(月)							冬の全体会 *12/12(木)			
九	九州ITフォーラム				*7/26(金)					*12/12(木)			
九州	合同合宿				*7/5(金) ~6(土)								
	グループリーダ会議							10/9(水)					
マネ	ジメント研究会			6/21(金) 〈東京〉	*7/26(金) 〈福岡〉		9/6(金) 〈大阪〉		*11/15(金) 〈名古屋〉				
マネ	ジメント研究会懇親会			6/22(土) 〈東京〉	7/27(土) 〈福岡〉		9/7(土) 〈大阪〉		11/16(土) 〈名古屋〉				
短其	月ゼミナール・1 day セミナー					7-	11月 随時開	催					

「*」は「合同開催」 上記のスケジュールは都合により変更される場合もございますので、予めご了承下さい。

役員・代表の紹介 2019年度のUNIRITAユーザ会役員・代表の方々をご紹介します。

役員

会長 坪井 祐司 株式会社LIXIL

常勤監査役

幹事



副会長 後藤 聖央

ソニー生命保険株式会社 IT 戦略本部 副本部長 兼 基盤システム統括部 統括部長



幹事 河村 優司 さくら情報システム株式会社

執行役員



幹事

山口 公晃 ケージー情報システム株式会社 取締役営業企画部長



原 裕一 カシオ計算機株式会社 情報開発部 マーケティング情報グループ グループマネージャー



久保 知裕 昭和シェルビジネス& ITソリューションズ株式会社 代表取締役社長

サービス事業本部 本部長



幹事

幹事

渡辺 順 株式会社日立ビルシステム IT本部 情報システム部 部長



根崎 周一 生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

幹事 丸田 俊彦 ANAシステムズ株式会社 執行役員



井上 勝 第一生命保険株式会社 ITビジネスプロセス企画部 IT運用管理課 課長

渡辺 浩之

株式会社ユニリタ

常務執行役員

幹事



会計幹事 小池 拓 株式会社ユニリタ 執行役員

田中 久子

ITサービス本部長

SOMPシステムズ株式会社



東日本地区代表

情報活用研究部会代表 坂本 克也 BI-Style 株式会社



情報活用研究部会代表 山口聡 株式会社ダリヤ

中部地区代表



株式会社豊通シスコム

システム運用・合同研究部会代表 小林 浩一

西日本地区代表

情報活用•合同研究部会代表 近藤 寿和 ユニチカ株式会社



システム運用研究部会代表 深沢 修 旭化成株式会社



九州地区代表

システム運用研究部会代表

リコーITソリューションズ株式会社

中俣 幸二

情報活用・システム運用 研究部会代表

永浦 秀敏 株式会社インフォセンス



ITフォーラム代表

東日本ITフォーラム代表 原 裕一(兼任) カシオ計算機株式会社

中部ITフォーラム代表 根崎 周一(兼任) 生活協同組合連合会 東海コープ事業連合



マネジメント研究会会長 山口 公晃(兼任) ケージー情報システム株式会社



永浦 秀敏(兼任) 株式会社インフォセンス



九州ITフォーラム代表

10 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 UNIRITA Users' Group News 2019.4.9 / No.56 11